

今回の電子会誌は、私にとって昨年に引き続き 2 回目の作成となりました。会誌作成の段取りも分かり、理事会の雰囲気にも慣れて、昨年よりも間違いなく、簡単(スムーズ)!?にいくはずだったのに・・・。

特集テーマの選定、特集テーマに沿った原稿内容の選定、施設紹介の施設選定等々、全てを自分でマネジメントしてみて、改めて会誌作成の難しさを痛感しました。そんな思いで過去の会誌を振り返ってみると、歴代の会誌作成に携わった皆さんのご苦勞が見て取れました・・・。

自分の力の無さを痛感しながらの作成となりましたが、何とか無事に平成 28 年度電子会誌第 8 号を発刊することが出来ました。

この紙面をお借りして、電子会誌第 8 号の発刊にあたり、会誌原稿を寄稿して頂きました会員の皆様、各メーカー担当者の方々、ご協力いただいた理事会の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、今回の電子会誌は「線量管理」をテーマに、線量管理の総括を武蔵野赤十字病院 荒井理事に執筆していただきました。また、各メーカーから線量管理ツールの紹介、線量管理ツールを使用している松江赤十字病院 森脇様から使用経験について執筆していただきました。

また、今回は会員による論文(福井赤十字病院 上村様)を掲載しています。施設紹介では、さいたま赤十字病院、神戸赤十字病院、唐津赤十字病院の 3 施設にご協力していただきました。皆様の参考にしていただければ幸いです。

現在、ホームページ上での交流が活発に行われてきています。会誌作成におきましても、出来るだけ多くの会員の皆様のご意見をいただければと思います。引き続きご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成 29 年 5 月 日本赤十字社診療放射線技師会 広報部
成田赤十字病院 大竹 覚